

ヴィセンテ モロンタ

オーボエ・リサイタル

[予定プログラム]

ロベルト・シューマン/幻想小曲集 op.73

ロベルト・シューマン/《ミルテの花》より

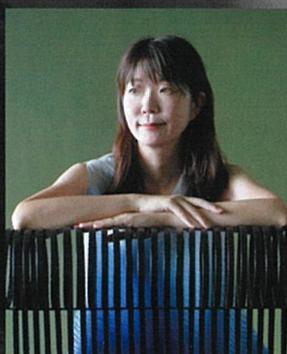
「献呈」「くるみの木」「蓮の花」

ヨハネス・ブラームス/6つの歌曲 op.6

その他、ヴィラ・ロボス、高木日向子作品を演奏予定。

オーボエ/ヴィセンテ・モロンタ ピアノ/乾将万

※出演者・プログラムの一部が変更となる場合があります。



現代音楽のスペシャリスト
南米・ベネズエラの至宝が紡ぐ音楽

VICENTE MORONTA OBOE RECITAL

8/11 (火) 開演 13:30 (開場 13:00)

茨木市市民総合センター クリエイトセンター

INUI MUSIC SALON ☎080-4761-6820

(公財) 茨木市文化振興財団・文化事業係 ☎072-625-3055

[電話] [窓口] 共に 10:00~17:00 [WEB] www.ibabun.jp [窓口] 財団チケットカウンター (クリエイトセンター1階) [コンビニ] ファミリーマート ※要手数料

一般入場料 2,000円

茨木市民価格 1,500円

高校生以下入場無料

全席自由 ※未就学児の入場不可

主催：INUI MUSIC SALON

共催：(公財) 茨木市文化振興財団

後援：茨木市



ヴィセンテ・モロンタ はベネズエラ出身の演奏家・研究者であり、国際的に活躍する長年のキャリアを持つ音楽家です。オーボエをリカルド・リベイロ（カラカス）、ディートヘルム・ヨナス（リュベック）、エマニュエル・アビュール（バーゼル）に師事。ベネズエラ中央大学で音楽学を学び、スイス・バーゼルのバーゼル音楽アカデミーおよびドイツ・フランクフルトの現代音楽アンサンブル・アカデミー（IEMA）で現代音楽を専門的に学びました。ベネズエラ・シモン・ボリバル交響楽団のメンバーとして12年以上在籍し、アジア、南北アメリカ、ヨーロッパの主要なコンサートホールで演奏。ザルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭、ボンのペーターヴェン音楽祭、BBC プロムス、エディンバラ音楽祭などの著名な国際音楽祭にも多数参加しています。ドイツ・グラモフォン、フランス国営ラジオ、スイス放送協会（SRF）、WDR、SWR、BR、IRCAM、Art Music などの放送・レーベルにて録音も行っています。これまでに、クラウディオ・アバド、サイモン・ラトル、ハインツ・ホリガー、クシシュトフ・ペンデレツキ、エサ＝ベッカ・サラノン、グスターボ・ドゥダメル、ブルーノ・マントヴァーニ、ラファエル・パヤーレ、ルーカス・フェイス、ジョナサン・ストックハマーなど多くの著名な指揮者と共演。また、以下のような多数の作曲家たちが彼のために作品を作曲・献呈しています：ステファノ・ジェルヴァゾーニ、ミシェル・ロート、マイク・スヴォボダ、高木日向子、ペドロ・ガルシア＝ベラスケス、ジョアン・マグラネ＝フィゲラ、アレックス・ナンテ、フアン・フランシスコ・サンス、アドリアン・スアレス、ミゲル・フェリアス、アルトゥーロ・フェンテス、ヘルガ・アリアス、トビマス・クレブス、アンナ・ソワ、クォン・ギッピ、ミルトウル・エスカローナ＝ミハレス、ビクトル・イバラ、イサンドロ・オヘダ＝ガルシア、ルイス・エルネスト・トーレス、ダビド・エルナンデス＝ラモス、ノルマン・ゴメス＝バジェステル、ロドリゴ・リマ、カルロス・アルセ、ユーヘン・チェン、ほか多数。

現代音楽のソリストやアンサンブル奏者としても幅広く活動しており、以下の音楽祭に参加しています：マニフェスト（パリ）、ミラノ・ムジカ、ルツェルン音楽祭、ヴィッテン現代室内楽祭、インパルス（グラーツ）、エンセムス（バレンシア）、クランクシュペーレン（インスブルック）、CEPROMUSIC（メキシコ）、CCMC（ボゴタ）、テグ国際現代音楽祭（韓国）、ラテンアメリカ音楽祭（カラカス）、タイム・オブ・ミュージック（フィンランド）、モントリオール現代音楽ラボ、ソネムス（サラエボ）、Re:Suen（カラカス）、ガウデアムス音楽週間（ユトレヒト）、ツァイト・レーメ（バーゼル）、F°Lab（フランクフルト）、クランクツァイト・ペゲグング（ミュンスター）、ムジカ・オクパ（エクアドル）、アタッカ・フェスティバル（バーゼル）など。2001年にはカラカスの「シモン・ボリバル」音楽院よりベネズエラ国家オーボエ賞を、2015年にはCOFCAM（中米・メキシコ オーボエ&ファゴット会議）にてマリゴー第1賞を受賞。バーゼル市、バーゼル音楽アカデミー、ニカティ・ド・リュゼ財団、ドライクラング財団、メリンダ・エステルハージ財団、リタ・ツィンマーマン財団、ヨーゼフ&ハリエッタ・クリプス財団、イレヌ・デネレアズ財団、プロ・ヘルヴェティア、ネスレ芸術財団、スイサ財団、スタンリー・トーマス・ジョンソン財団などからも助成を受けています。これまでに共演・所属した団体には、フランクフルト歌劇場管弦楽団、アンサンブル・モデルン、アンサンブル・リシエルシェ、ハンプルガー・カメラータ、アンサンブル・フェニックス、アンサンブル・プロトン、テンポ・コネックス、メキシコ国立交響楽団、ハリスコ・フィルハーモニー管弦楽団などがあります。彼はまた、ベネズエラ国内の若手演奏家支援と多様な地域での音楽普及を目的とした教育・芸術・社会プロジェクト「El Oboe y sus Laberintos」の共同創設者でもあります。教育者としても高く評価されており、以下の教育機関で客員教授として招かれています：アルゼンチン国立芸術大学（ブエノスアイレス）、チリ・カトリック大学（サンティアゴ）、メキシコ国立自治大学（CDMX）、コロンビア国立大学（ボゴタ）、ベルン芸術大学、バレアレス諸島高等音楽院（マジョルカ）、カスティージャ・ラ・マンチャ高等音楽院（アルバセテ）、ウルタード大学（サンティアゴ・デ・チリ）。2017年のアテネおよび2018年のバーミンガム・ロンドンにて開催された「SEYO（エル・システマ・ヨーロッパ）」では、オーボエセクションの育成を担当しました。現在は、テレサ・カレーニョ劇場の現代音楽部門ディレクターおよびエル・システマ国立オーボエ学校の教授を務めるほか、イペロアメリカ・アンサンブル、オーボエス・ミグランテス・デュオ、キュマ・デュオの共同創設者としても活動。2021年からはソロプロジェクト「Songs of Reeds」を展開しています。また、国や地域を問わず、コミュニティや文化・教育施設で行うプロジェクト「1,2,3...ÓÍDO!（耳をすませて）」を通じて、現代音楽の世界をより多くの人々に届ける取り組みも行っています。

ランスタン

L'Instant ジュネーブ国際コンクールの感動を再び！

作曲/高木日向子

木管五重奏曲「不思議の国のアリス」

ヴァイオリン協奏曲（世界初演）

オーボエ協奏曲「L'Instant」（2019年ジュネーブ国際コンクール優勝作品）

2026.8.13（木）19:00 開演

兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホール

入場料 ¥3,000（全席指定）

ご予約・お問い合わせ INUI MUSIC SALON **080-4761-6820**

